

マスクの着用について

熱中症のリスクや表情が見えにくいことによる小児の発達への懸念等から、次の場合はマスク着用が不要です。

①屋外では、近くで会話をしなければマスクは不要



②就学前の子どもは、マスク着用を一律には求めません



マスク着用の場面別 参考例



周囲の状況	自分一人のとき	人との距離			
		2m以上		2m未満	
		ほとんど会話なし	会話・発声あり	ほとんど会話なし	会話・発声あり
屋内 (電車、バス、自動車等の車内も含む)	不要 例)一人で部屋ですごす 	不要 例)距離をあけた作業 	着用が望ましい ※1 例)会議・座談会 	着用が望ましい 例)通勤電車・バスの中 	着用が望ましい 例)室内での打合せ 
屋外	不要 例)一人で散歩 	不要 例)距離をあけてランニング・サイクリング・釣り 	不要 例)密にならない遊び 	不要 例)徒歩通勤・人とのすれ違い 	着用が望ましい 例)観光地の人混み・スポーツ観戦 

※1 十分な換気等の感染対策を講じている場合はマスクを外すことも可

* 高齢の方と会う時や病院に行く時はマスクを着用しましょう。
* マスク着用が必要になることもありますので、マスクは常に持ち歩きましょう。状況に応じた着用をお願いします。

～3密を避ける、換気の励行、こまめな手洗い、消毒など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。～

